



2024年度 小野梓記念スポーツ賞

「小野梓記念スポーツ賞」とは

小野梓は、大隈重信をたすけて早稲田大学の前身である東京専門学校創設にもっとも心血を注いだ一人である。ゆえに大隈重信と小野梓は本学建学の父・母に並び称される。東京専門学校が創立された1882年当時、我が国唯一の高等教育機関であった東京大学では、お雇い外国人教師による西洋の書物・言語を用いた教授が主流であった。また日本は、旧幕府が欧米諸国と締結した不平等条約の改正を急務としている時代であった。

小野梓は、東京専門学校の開校式の祝辞の中で、次のように述べている。

一国の独立は国民の独立に基いし、国民の独立はその精神の独立に根ざす。而して国民精神の独立は実に学問の独立に由るものなれば、その国を独立せしめんと欲せば、必ず先ずその民を独立せしめざるを得ず。その民を独立せしめんと欲せば、必ず先ずその精神を独立せしめざるを得ず。而してその精神を独立せしめんと欲せば、必ず先ずその学問を独立せしめざるを得ず。

すなわち、「一国の独立」をまっとうする方途は、つまるところ「学問の独立」を措いてないと言っているのである。こうして、「学問の独立」を唱える小野梓は、日本語による専門学術の教授を力説した。

小野梓は、東京専門学校創立後、わずか3年余で、その後の学園の隆盛を見ることなく、33歳の若さで亡くなった。しかし、小野梓の唱えた「学問の独立」は、1913年の創立30周年式典に際して宣明された「早稲田大学教旨」に明記され、今日に至るまで脈々と受け継がれて早稲田大学の根本精神となっている。

こうした小野梓の功績を顕彰し、建学の精神を顕揚することを目的に、1958年に小野梓記念賞が制定され、学術、芸術、スポーツの三部門において、それぞれ優れた成績を修め、模範となるべき学生に対してこの賞が贈られることになった。

さらに1994年度より、三賞の選考範疇には属さないが、小野梓記念賞を授けるに値すると認められる成果、業績をあげた学生に対して特別賞が贈られている。

2024年度 小野梓記念スポーツ賞

◎個人

部名	学部	学年	氏名	大会名	成績
野球部	スポーツ科学部	4年	印出太一	第43回ブラハベースボールウィーク	優勝
				第31回ハーレムベースボールウィーク	優勝
	商学部	4年	山縣秀	第43回ブラハベースボールウィーク	優勝
				第31回ハーレムベースボールウィーク	優勝
	スポーツ科学部	4年	吉納翼	第43回ブラハベースボールウィーク	優勝
				第31回ハーレムベースボールウィーク	優勝
漕艇部	文学部	4年	仙田早紀	第19回アジア競技大会(2022/杭州)	女子エイト2位
剣道部	社会科学部	4年	中原菜月	第16回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	優勝
柔道部	スポーツ科学部	4年	HUH, Mimi	第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)	柔道女子57kg級2位
水泳部	スポーツ科学部	4年	松本信歩	第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)	競泳女子200m 個人メドレー14位
スキー部	スポーツ科学部	4年	久保田真知子	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ (2023/レークプラシッド)	スキーノルディック複合 混合スプリント 団体優勝

部 名	学 部	学年	氏 名	大会 名	成 績
スキー部	スポーツ科学部	4年	宮 崎 彩 音	第101回全日本スキー選手権大会	女子ノルディックコンバインド優勝
	スポーツ科学部	4年	山 崎 大 翔	FISU 冬季ワールドユニバーシティゲームズ (2025/トリノ)	スキー クロスカントリー男子 4×7.5km リレー優勝
	スポーツ科学部	4年	古 賀 結 那	FISU 冬季ワールドユニバーシティゲームズ (2023/レークプラシッド)	女子フリースキー・スロープスタイル 優勝
スケート部	スポーツ科学部	4年	山 下 栞	第24回オリンピック冬季競技大会 (2022/北京)	アイスホッケー・女子6位
バスケットボール部	スポーツ科学部	4年	江 村 優 有	FIBA バスケットボール 3x3 ワールドカップ	女子9位
ボクシング部	スポーツ科学部	4年	高 橋 美 波	2024 全日本ボクシング選手権大会	女子ライトウェルター級優勝
空手部	国際教養学部	4年	アルフォルテ さくら	第19回アジア競技大会 (2022/杭州)	空手女子個人形3位
レスリング部	社会科学部	4年	伊 藤 海	2023年U23世界レスリング選手権大会	女子 50kg 級優勝
ヨット部	商学部	4年	中 尾 桃 子	第4回全日本スナイブ級ミックスヨット選手権大会	スナイブ級優勝
	スポーツ科学部	4年	服 部 陸 太	第4回全日本スナイブ級ミックスヨット選手権大会	スナイブ級優勝
フェンシング部	スポーツ科学部	4年	柴 田 華	第19回アジア競技大会 (2022/杭州)	近代五種団体2位
自転車部	スポーツ科学部	4年	石 田 唯	第27回全日本選手権タイム・トライアル・ロード・レース大会	個人タイムトライアル女子 (25km) 優勝
ウエイトリフティング部	スポーツ科学部	4年	橋 本 夏 実	第38回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会	女子64kg 級優勝
アーチェリー部	スポーツ科学部	4年	園 田 稚	FISU ワールドユニバーシティゲームズ (2021/成都)	アーチェリーリカーブ混合優勝

◎団体

部 名	大会 名	成 績
競走部	第108回日本陸上競技選手権大会・リレー競技	男子4×100mR 優勝
ヨット部	2020年度全日本学生ヨット選手権大会	総合優勝
	2021年度全日本学生ヨット選手権大会	総合優勝
	2022年度全日本学生ヨット選手権大会	総合優勝
	2023年度全日本学生ヨット選手権大会	総合優勝
	2024年度全日本学生ヨット選手権大会	総合優勝